

教科名	数学	科目	数学 B (理系)	週授業時間	3 単位
-----	----	----	-----------	-------	------

1. 教科書および副教材・参考書

改訂版 高等学校 数学 B (数研出版)

改訂版 高等学校 数学 III (数研出版)

改訂版 4 プロセス II+B (数研出版)

改訂版 4 プロセス III (数研出版)

2. 授業の目標および内容

数学Bは大きく分けて「ベクトル」、「数列」、「確率分布」の3つの分野に分かれているが、授業では「確率分布」は扱わない。指導は「数列」、「ベクトル」の順で行う。これは、数学IIIで「極限」を学習する際に指数法則や Σ 計算が必要となるため、早い段階で生徒にこれらの計算技術を身に付けさせたいからである。また、年度の後半に数学IIIの複素数平面を学習するため、「複素数平面」と親和性の高い「ベクトル」をその前に置くことで生徒にとって良い接続になると考える。

進学クラスは主に基礎学力到達度テストに合わせた難易度設定で授業を行い、しっかりと学習すれば高得点が取れるように指導していく。また、特進クラスでは大学入学試験で多く取り上げられる話題も積極的に扱い、発展的な問題でも自ら学習できるような素地を身に付けさせていくことを目標とする。

3. 試験について

	1 学期		2 学期		3 学期
定期試験	一次 5 月	二次 7 月	一次 10 月	二次 12 月	期末 3 月
学力試験	なし		第 1 回 9 月		第 2 回 2 月

内容・難易度について

- ① 定期試験：試験時間は50分とし、教科書の例題や練習問題に準じた問題を出題する。授業中に実施したテストや副教材の問題集を利用して問題演習を中心に臨むことが大切である。
- ② 学力試験：試験時間は50分とし、授業の内容からやや発展させ、応用力を問う出題とする。試験範囲は原則として入学当初から学習した事全てとする

4. 評価の視点

1・2学期： $(1\text{次テスト素点} + 2\text{次テスト素点}) / 2 \pm \alpha$

3学期：期末テスト素点 $\pm \alpha$

※ α は授業態度、提出物等を考慮して決定する。

授業計画

学期	単元	学習内容	備考
1	【数学B】 第3章 数列 第1節 等差数列と等比数列 第2節 いろいろな数列 第3節 漸化式と 数学的帰納法	<ul style="list-style-type: none"> ・数列と一般項 ・等差数列／等差数列の和 ・等比数列／等比数列の和 ・和の記号Σ ・階差数列 ・いろいろな数列の和 ・漸化式 ・数学的帰納法 	
2	第1章 平面ベクトル 第1節 ベクトルとその演算 第2節 ベクトルと平面図形 第2章 空間ベクトル	<ul style="list-style-type: none"> ・ベクトル ・ベクトルの演算 ・ベクトルの成分 ・ベクトルの内積 ・位置ベクトル ・ベクトルの図形への応用 ・図形のベクトルによる成分 ・空間の点 ・空間のベクトル ・ベクトルの成分 ・ベクトルの内積 ・ベクトルの図形への応用 ・座標空間における図形 	

	【数学Ⅲ】 第3章 関数	<ul style="list-style-type: none"> ・分数関数 ・無理関数 ・逆関数 	
3	【数学Ⅲ】 第1章 複素数平面 数学Ⅱ・Bの総合演習	<ul style="list-style-type: none"> ・複素数平面 ・複素数の極形式 ・ド・モアブルの定理 ・複素数と図形 	独自プリントを使用